

もう一つの力

城下小学校 三年 橋 優風

わたしは、花が大好きです。なぜなら、花はわたしに元気をくれるからです。

わたしの家には、花だんがあります。たたみの半分くらいの小さな花だんです。でも、わたしは、毎年そこに花を植えることを楽しみにしています。

今年の春も家族みんなで花植えをしました。わたしが、部活から帰ってくるとげんかんの外で、父が花を持って立っていました。花は、オレンジと黄色のまじったマリーゴールドでした。くたくただったわたしは、元気が出てきました。わたしは父に、

「それ植えるの。いっしょにやっつていい。」と聞きました。そうすると父が、

「早く道具を置いて、手つだつて。」

と言いました。わたしは走って家に入りました。そして、ソファーに部活の道具を放りなげ、ぐん手をはいてまた外に出ました。

花だんには、もうマリーゴールドが植えられていたのがっかりしましたが、父がはちをもつてきて、

「これに植えてちょうだい。」

と言ったので、また元気になりました。

はちの土にあなをほって、水を入れました。そしてポットからマリーゴールドをとり出し、

たくさん水をのむんだよと心の中で言いながら、やさしく植えました。

その夜、わたしは妹とげんかをしました。デザートの一つしかないプリンのとおり合いになったのです。母がいつものように、

「お姉ちゃんなんだから、ゆずりなさい。」と言いました。わたしは、

「何で、いつもそういうふうにするの。」

と言いかえしました。自分だけせめられたような気がして、なみだが出ました。

わたしは外に出ました。花だんやはちのマリーゴールドが「がんばれ」とはげましてくれました。マリーゴールドが、わたしのみ方になってくれたような気がしました。わたしは考えました。どうすればよかったのだろう…。わたしがいつもがまんすることはむりだと思っていたのですが、ちゃんと話し合いをすればよかったなと思いました。

わたしは家の中にもどって、妹に、

「ごめんね。」

とあやまりました。妹も、

「ごめんね。」

と言ったので、仲直りしました。

わたしは、花はみんなを元気にしてくれる力があると思っていました。もう一つすばらしい力があることに気がつきました。それは、人をすなおにする力です。

もしかすると、花には、わたしがまだ知らない力があるかもしれません。わたしは、これからも花を植えたりかんさつしたりして、花といっしょに生活していきたいです。